

住友セメントシステム開発株式会社

SAP S/4HANAに向けたSAP ECC更新やSoH化時の回帰テストを大幅に効率化する「現新システム比較ソリューション」

テストシナリオ実行と、画面キャプチャー・レポート・データの現新比較の自動化で、テスト工数削減とテスト品質向上を実現!!

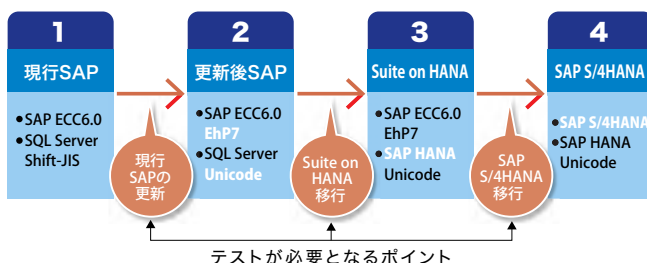
SAP ECCからSAP S/4HANAへの移行には、その手法によって複数のステップが必要となり、各ステップで新環境と現行環境が同様に動作するかをテストします。住友セメントシステム開発株式会社（以下、スミテム）は、テスト自動化や、画面・レポート・SAPテーブルレコード等の一括比較・レポートを含む「現新システム比較ソリューション」によって、テストの工数面・品質面での大幅な改善を支援します。

SAP S/4HANAへの移行で発生するテスト

SAP S/4HANAに移行する場合、SAP ECCはいくつかのシステム要件を満たす必要があります。そのため、いくつかのステップが必要です。例えば、【図1】のようなロードマップの場合3つのステップでシステム更新を実施しており、それぞれのステップでテストを実施する必要があります。また、ステップ間でサポートパッケージ（SP）を適用する際にもテストが必要となります。新環境への移行には、現・新環境で同一のテストを実施し、差異を抽出する『現新システム比較テスト【図2】』を行います。全てを手作業で実施すると、工数増大やミスの発生が懸念されます。

自動化が生きるテストスコープと、「QC-ACCEL」による自動化工数の半減

現新システム比較テストの前半では、現・新環境で同じテストを実施しますが、ここではテスト自動化のメリットが非常に大きくなります。テスト自動化の要点の1つは、繰り返し実施するテストを自動化スコープにすることであるからです。



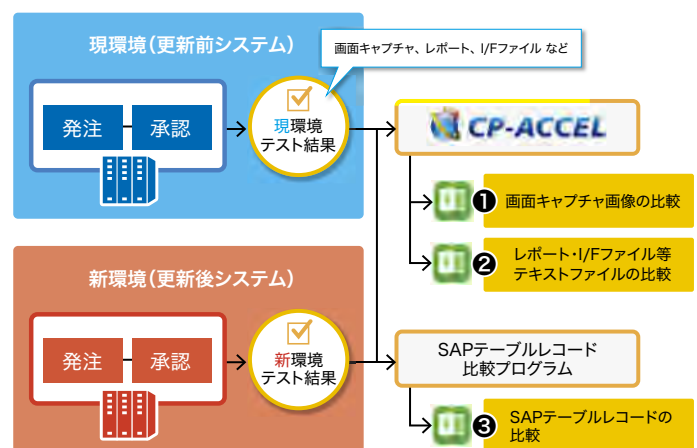
【図1】 SAP S/4HANA移行ステップの一例

また、もう1つの要点として、自動テスト資産（スクリプトなど）の開発工数を極力低減することも挙げられます。この部分には、スミテムの自動化開発支援ソフトウェア「QC-ACCEL」が大きな効果を発揮します。

QC-ACCELは、テスト自動化のベストプラクティスを標準的に実装できるだけでなく、スクリプトなどの自動編集機能によって自動化開発全体の工数を約50%削減できます。

テスト結果比較・レポートの効率化

現新システム比較テストの後半では、テスト結果である画面キャプチャやレポートなどの比較を行います。スミテムは画像・テキスト比較に「CP-ACCEL」、クライアント間のSAPテーブルレコード比較に「SAPテーブルレコード比較プログラム」をご用意して



【図2】 現新システム比較テストの概要

所を除外した現新システム比較が行えます。また、「SAPテーブルレコード比較プログラム」はテーブルレコードの比較結果をCSV形式で出力します。こちらを目視による確認ミスの排除や、工数削減効果を得られます。

「SAP S/4HANA移行時のテスト効率化セミナー」

- （本稿内容の詳細）
- 日時：2016年12月02日（金）15:00～17:00
 - 会場：住友セメントシステム開発株式会社 本社セミナールーム
 - 参加費：無料
 - お申込み：<http://www.sumitem.co.jp/3653>

お問い合わせ先

住友セメントシステム開発株式会社
 情報システム事業部 QCコンサルティング部
 〒105-0012東京都港区芝大門1-1-30 芝NBFタワー3F
 TEL:03-6403-7861
 E-Mail : erp_qc@sumitem.co.jp
 URL : <http://www.sumitem.co.jp/service/qualitycenter>

住友セメント システム開発株式会社